

# LGBTと防災: 災害リスクの 理解とレジリエンス・尊厳

2019年9月28日

中央大学後楽園キャンパス5号館3階5334号室

2019年度中央大学連続公開講座「LGBTをめぐる社会の諸相」

山下 梓(弘前大学)

森 あい(阿蘇ひまわり基金法律事務所, くまにじ)

# 私の災害とのかかわり(山下)

- 東日本大震災(2011年3月)
  - 死者19,689名, 行方不明2,563名, 家屋被害1,153,043棟(内閣府緊急災害対策本部 2019)
  - 岩手大学, 内閣府女性相談, 岩手レインボー・ネットワーク, 個人的つながり
- 北海道・東北豪雨災害(2016年8月)
  - 死者22名, 行方不明5名, 家屋被害8,600棟(土木学会・地盤工学会合同調査団 2017)
  - 個人的つながり
- 科学研究費助成事業研究課題  
「性的マイノリティ被災者の脆弱性・レジリエンスと防災政策の可能性」  
(防災工学分野)



2011.3.25 岩手県宮古市で山下梓撮影

# 私の災害とのかかわり(森)

- 2014年6月, 千葉都民から熊本県民(阿蘇)になる。
- 熊本地震(2016年4月)
  - 死者273名(災害関連死含む)
  - 家屋被害8,657棟(全壊のみ)



2016.4.23 南阿蘇村で森あい撮影



2016.7.16 阿蘇市で森あい撮影

# 災害とは？



- 国際赤十字・赤新月社によると  
災害とはコミュニティの機能を著しく混乱させる突然で悲惨な出来事。ハザードが脆弱な人々に影響を与える際に起こる。
- 自然災害という災害はない

# 災害とは？(続き)

## 脅威 (hazard)

### 《自然現象》

地震, 津波, 高潮,  
台風, 竜巻, 干ばつ,  
洪水, 噴火, 山林火災,  
熱波, 大雪

### 《人災》

戦争・紛争, テロリズム  
原子力事故, 公害

## 災害

(disaster)

## 脆弱性 (vulnerability)

### 《ハード面》

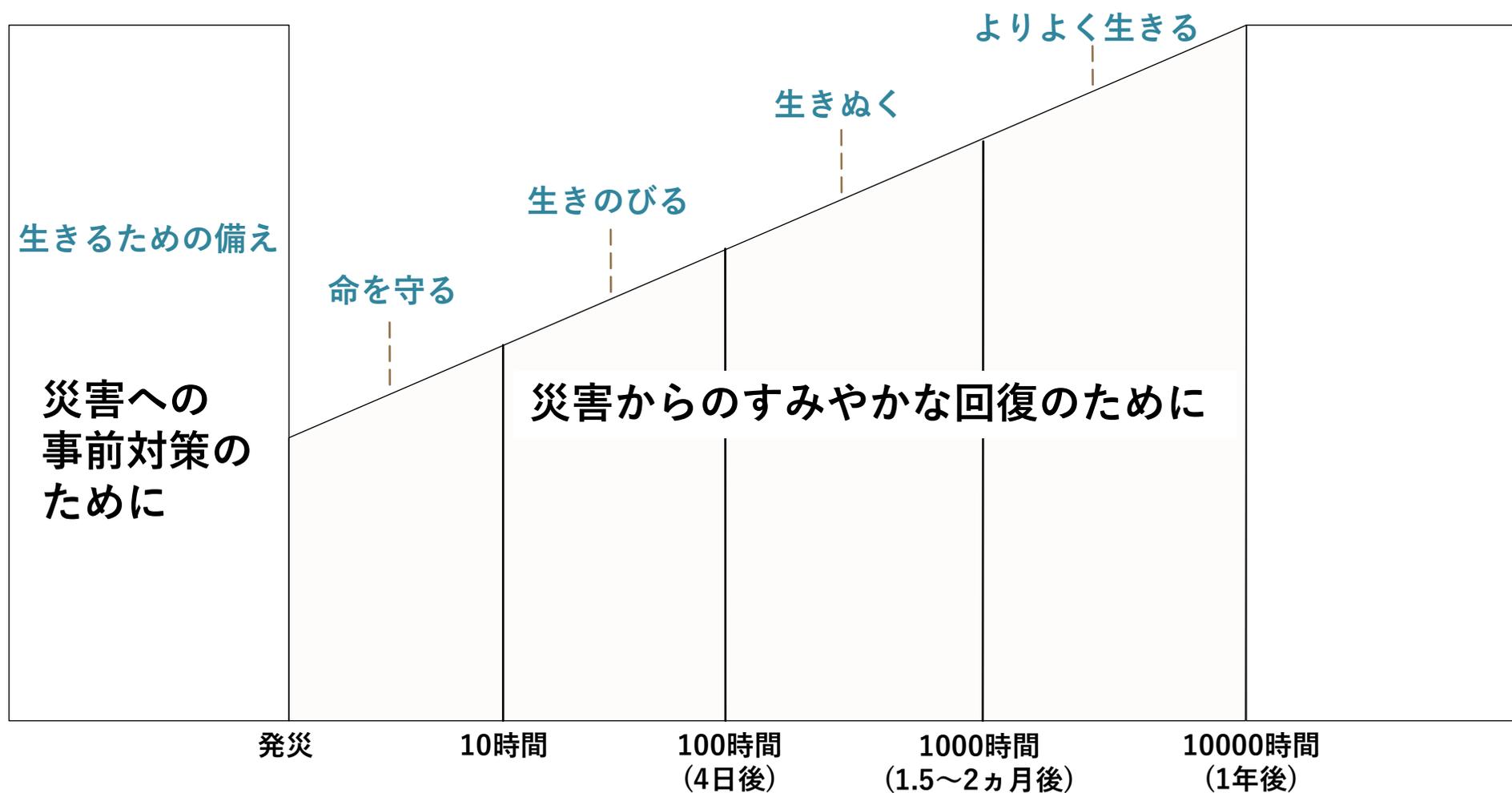
建物の強度, 地盤の強度  
交通, 支援施設

### 《ソフト面》

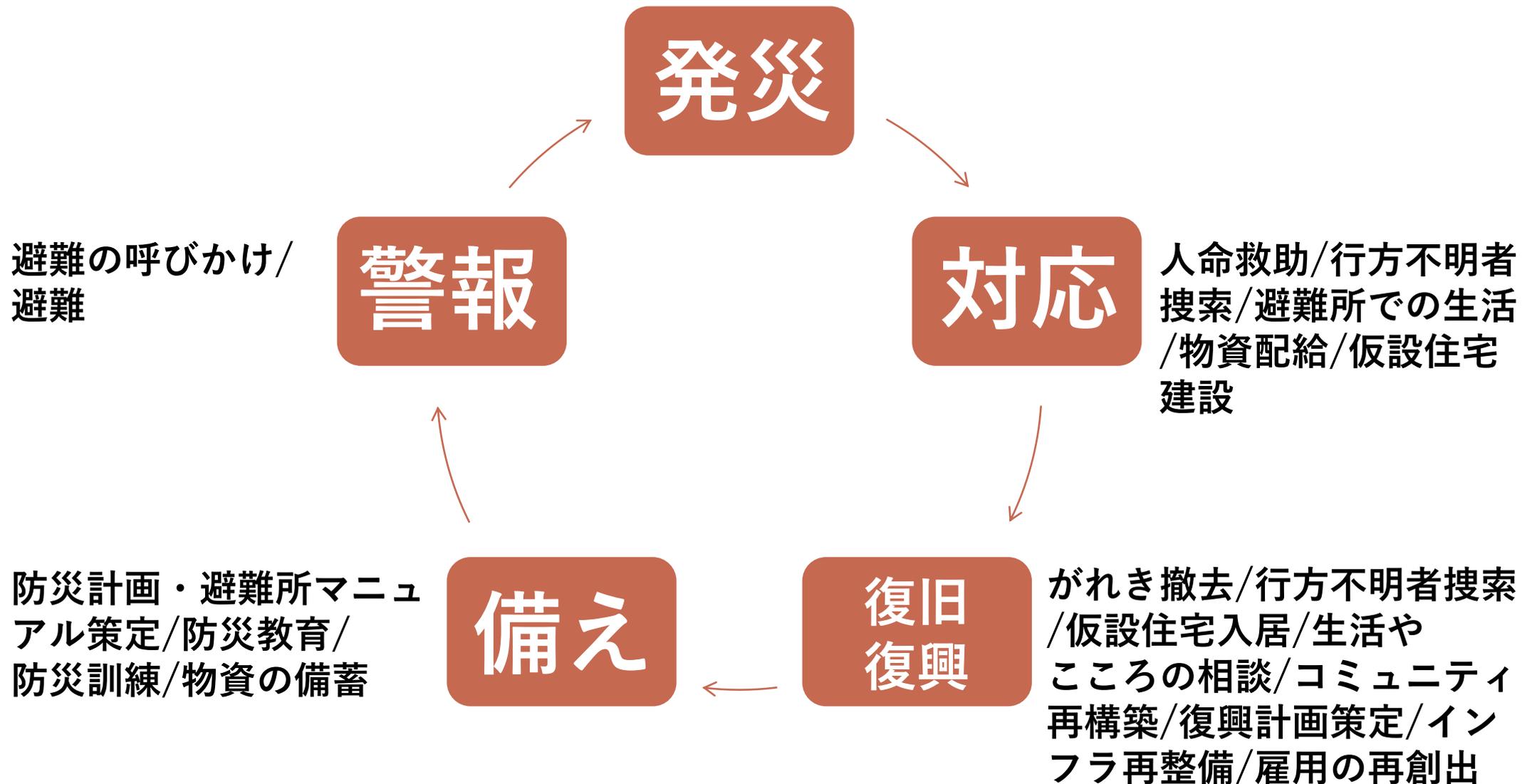
防災教育, 経済状況  
年齢, 病気・障害 など

国籍, 人種, 民族,  
言語, 宗教, 性別,  
SOGIESC

# 災害の時間軸

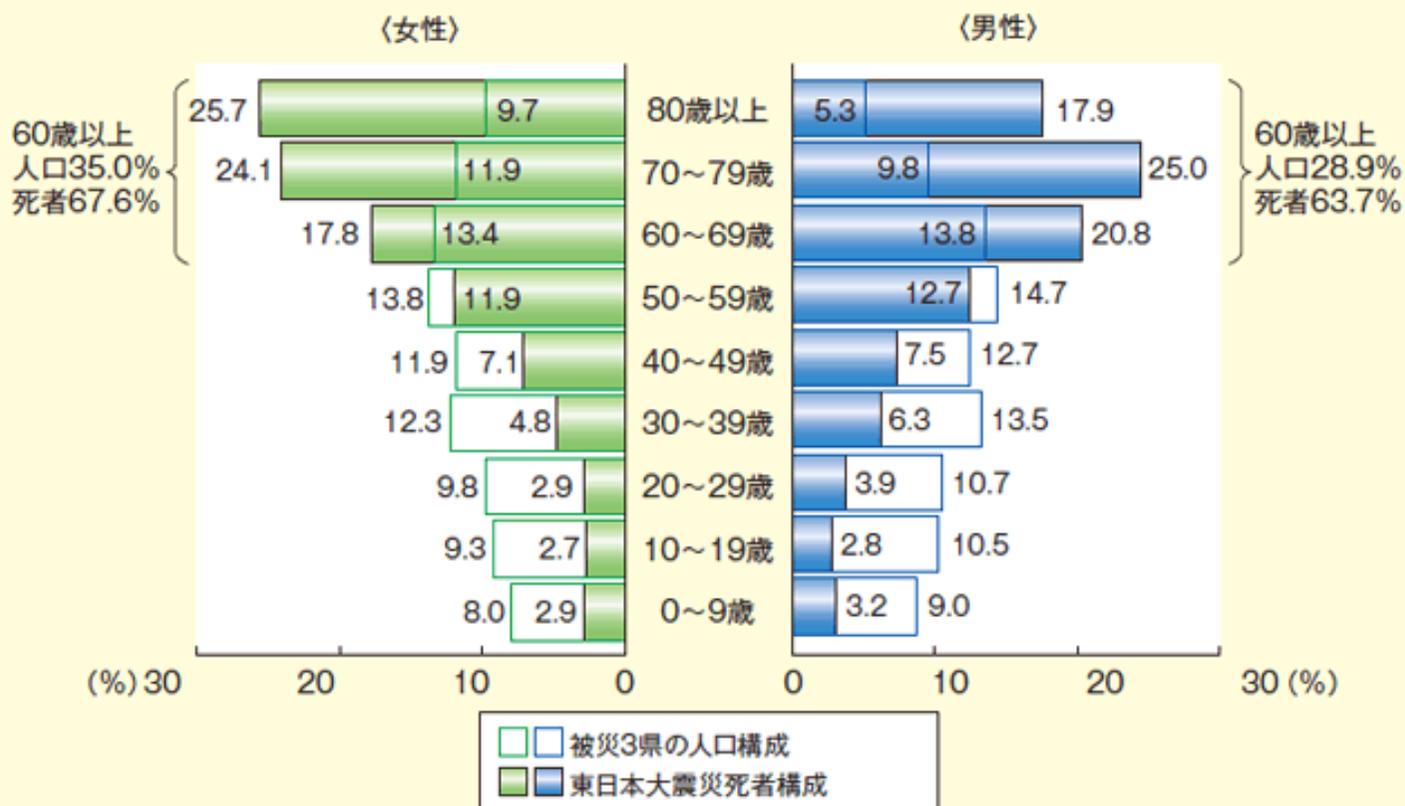


# サイクルとしての災害



# 災害経験は人により違う：年齢

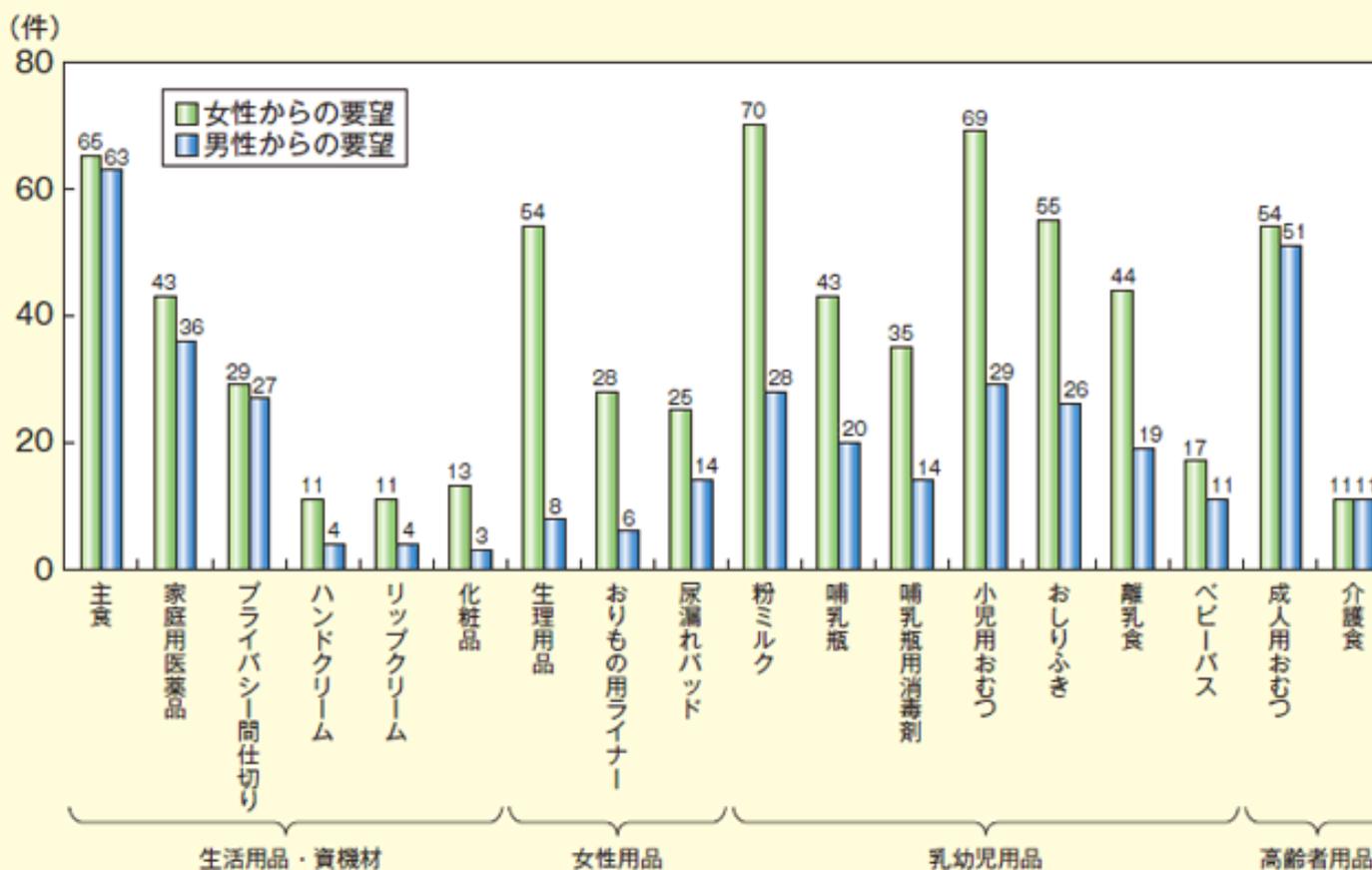
第1-特-3図 東日本大震災における男女別死者数と地域人口の年齢構成比較（岩手県・宮城県・福島県）



(備考) 1. 警察庁「東北地方太平洋沖地震による死者の死因等について【23.3.11～24.3.11】」及び総務省「国勢調査」(平成22年)より作成。  
 2. 数値は男女それぞれを100としたときの各年齢階層の構成比(%)。  
 3. 被災3県の人口構成は、年齢不詳を除く。東日本大震災死者構成は、性・年齢不詳を除く。

# 災害経験は人により違う：性別

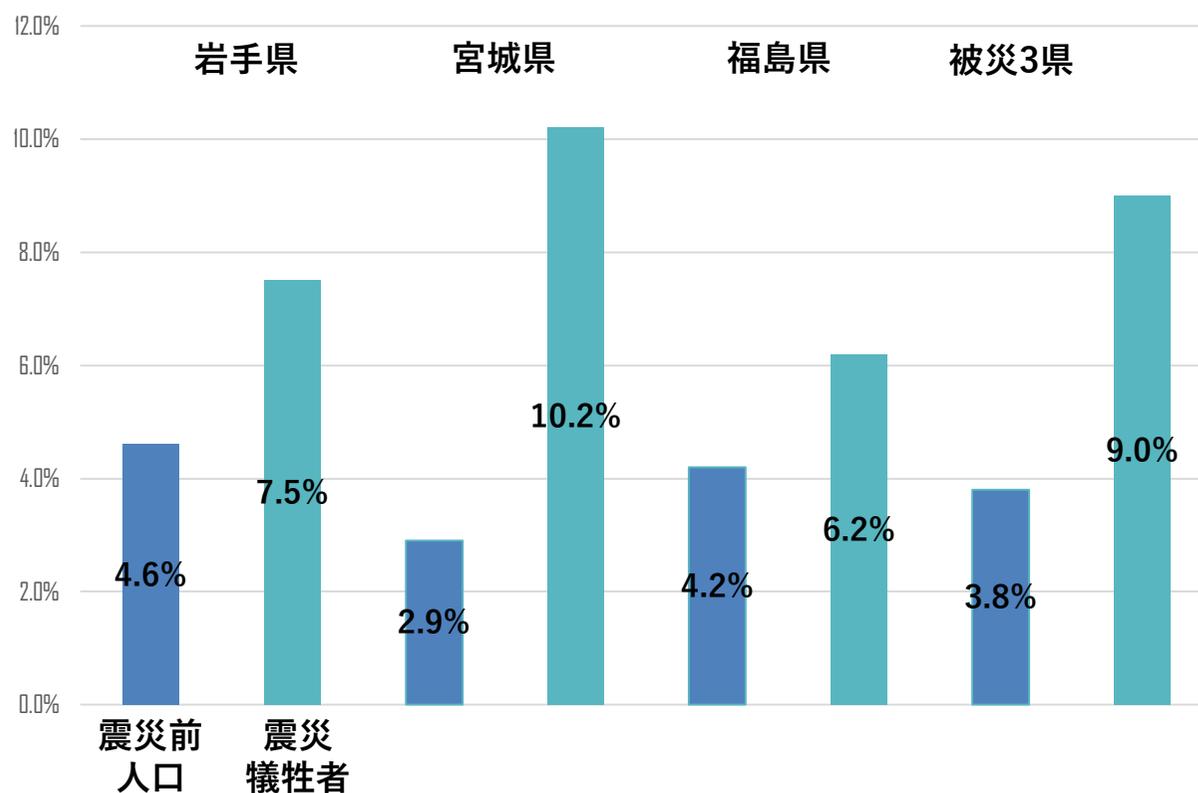
第1-特-18図 備蓄や支援物資に対する要望（男女別，複数回答）



(備考) 1. 内閣府「男女共同参画の視点による震災対応状況調査」(平成23年)より作成。  
 2. 調査対象は、被災3県(岩手県・宮城県・福島県)の108地方公共団体の男女共同参画担当。調査時期は、平成23年11月。

# 災害経験は人により違う：障害

震災前(2010年9月時点)の人口に占める障害者手帳保有者の比率と震災犠牲者に占める比率



中日新聞(2013年4月22日)「障害者 震災死亡率2倍超 東北3県 死者・不明者全体の9%」  
をもとに作成

# 災害時に配慮を要する人たち

- 高齢者が阪神・淡路大震災(1995)で「災害弱者」、新潟・福島豪雨(2004)で「災害時要援護者」として認識されるように
- 災害時要援護者避難支援ガイドライン(2005)以降に政策上認知され、全国に浸透
- 日本で要援護者/要配慮者ととらえられる人たち:  
高齢者, 乳幼児, 障害者, 妊産婦, 傷病者, 外国人  
→ 国際的なとらえ方と比べて限定的

減災と男女共同参画研修推進センター(2014)

# スフィア基準

- スフィア基準とは，2000年発行『人道憲章と人道対応に関する最低基準』（2003，2009-2010，2018年に改訂）
- 1997年人道援助を行うNGOと国際赤十字・赤新月運動がスタート
- 世界各地で人道支援関係者が参照
- コア原則として「災害や紛争の被災者には尊厳ある生活を営む権利があり，従って，援助を受ける権利がある」ことや非差別などがかけられている

# スフィア基準第4版でのLGBTQI

- 子ども，高齢者，ジェンダー，障害者，HIVとともに生きる人々とともに脆弱性あるグループとして認識

レズビアン，ゲイ，バイセクシュアル，トランスジェンダー，クィア，インターセックス(LGBTQI)であると自認する人々は，差別やスティグマ，性暴力，身体的暴力のより高いリスクにさらされがちである。これらの人々は，医療や住居，教育，雇用，情報や人道施設の利用にあたり，困難に直面することがある。

例えば，LGBTQIの人々は，避難所や食べ物の受渡しの際などに，「従来の」家族単位に基づく支援プログラムにおいて，差別に遭うことが多い。このような困難は，これらの人々の健康や生死に影響し，インテグレーション(統合)に長期的影響を及ぼすことがある。

備えと計画に，具体的で安全かつインクルーシブ(包摂的)な保護を盛り込むこと。人道対応のあらゆる段階において，LGBTQIの人々や団体との意義ある協議を確実に行うこと。



<https://www.spherestandards.org/handbook-2018/>  
(2019.6.17最終閲覧)

# 東日本大震災での経験

- 日本で災害とセクシュアルマイノリティに注目されるようになったのは東日本大震災から
- 被災者，支援者の中にLGBTの人たちは確かにいた
- 見えにくいものはさらに見えにくく，ふだんから忘れられがちなことはさらに忘れられるように「ふだんから彼とのことは周りに分からないように暮らしているから，災害で特別困ることはない」

グループをつくったものの…

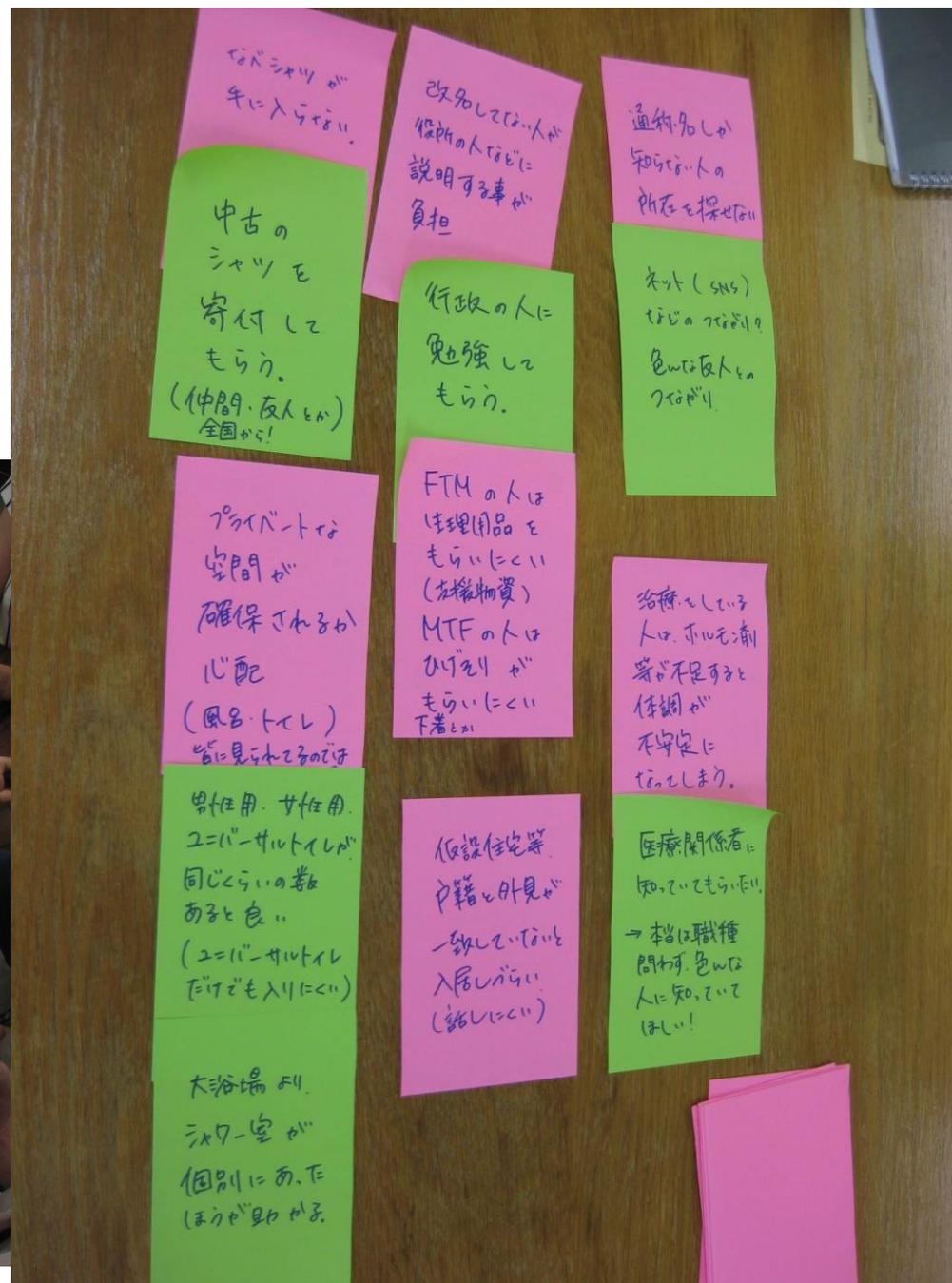
# 男女共同参画の視点からの防災・復興の 取組指針 解説・事例集より

- 避難所の開設:  
性的マイノリティ等にも配慮し、男女共用のユニバーサルトイレは最低でも1つは設置するよう検討することが必要(p. 29)
- 避難所の運営管理  
避難者名簿の性別欄については、性的マイノリティに配慮し、自由記述欄とする方法も考えられる(p. 35)

内閣府男女共同参画局(2013) <http://www.gender.go.jp/policy/saigai/shishin/index.html>  
(2019.6.17最終閲覧)



# にじいろ防災ガイド ダウンロードできます



# 熊本地震での経験

- 地震直後からのLINEなどでのやりとり
- 行政も注目 防災ポイントブックにも入った
- 他地域からの支援
- 「地方ではできてないはず」,  
「地方ではできない」ではなく

## 「男女共同参画の視点に立った防災」啓発の意義

私たちはなぜ「男女共同参画の視点に立った防災」を伝えるのか？

災害時に命と心身の健康を守り、生活の安全を図る ためには

被災という緊急時にあっても、誰もが等しく尊重される ことが大事

↓ その実現には

さまざまな立場の人たちが共に責任を担いながら支え合う 体制が必要

↓ しかし

平時(日常)にできていないことは緊急時にはできない

↓ だからこそ

平時からの男女共同参画社会実現に向けての活動推進 が重要

男女共同参画の視点に立った防災 は、その中に含まれるコンテンツであり、

誰にもその重要性が理解しやすい テーマである

熊本地震を経験した  
私たちが提案する



2019.3月発行「熊本地震を経験した私たちが提案する  
男女共同参画の視点に立った防災ポイントBOOK」

## ◎性的少数者が感じたのは…

大規模災害時は、誰もが被災者となり、多くの人を迎え入れる避難所では、性的少数者の存在を忘れがちになった。



●性の多様性を十分理解したうえで、性的少数者や支援者の意見を反映した地域防災計画の見直しや、避難所マニュアルの改訂を行う必要がある

●避難所では、物資の支給、トイレや更衣室の利用などの際に配慮が必要

あなたが考える解決策は…

「LGBTなどの性的マイノリティサポートハンドブック～熊本市職員として知っておくべき基礎知識～」から

### ●トランスジェンダー

- ・避難者名簿に戸籍上の名前を書かなくてはいけないと思い、避難所に行けなかった
- ・男か女が分からないと、避難所の職員や他の避難者から奇異の目で見られる
- ・身体を見られて不審がられないか心配で、入浴できなかった
- ・自認している性別に応じた下着や衣類、物資がもらえない・もらいづらい
- ・自認している性別の更衣室やトイレが使いづらい
- ・災害発生のため、定期的なホルモン治療ができなくなった

### ●同性のパートナーがいる人たち

- ・同性カップルで避難しようとしても、同じ区画に入りづらい



### ●性的少数者一般

- ・性的少数者であることが関係する困りごとや辛さを誰にも言えない

## もうすでに一緒に生きている 普段が大事

生まれたときに割り当てられた性別とは違う性別で生きている人、同性のパートナーがいる人などは、熊本でも暮らしています。しかしながら、テレビの中にだけいる人、東京にいる人と思われがちです。もうすでに一緒にこの街で生きているということを知ってい

る人が増えれば、災害時にも困ることは減るはず。

災害で初めて困るのではなく、災害は、普段の延長線上にあります。さまざまな人がこの街で暮らしていることを想定して準備しておくという、普段が大事です。



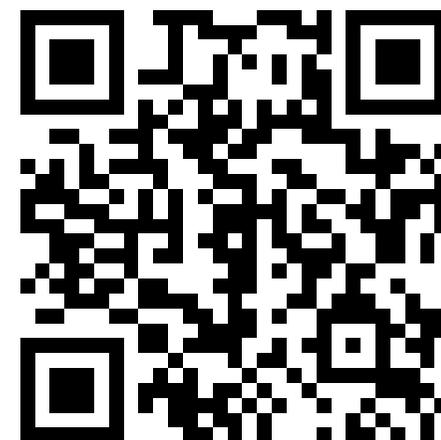
くまにじ  
森 あいさん

このたびは、熊本市男女共同参画センターはあもにいの作成した「男女共同参画の視点に立った防災ポイント BOOK」に関心をお寄せいただき、ありがとうございます。

この冊子は、従来の防災ハンドブックとは異なり、当館主催の防災出前講座等で男女共同参画の視点の意味や考え方を説明し、**私たちが見聞きしたこと、拾い集めた声を紹介、そこで感じた課題と解決策例を提示していくテキストとして作成**いたしました。そのため、被災経験が教えてくれたことをベースに、どう考え、どう行動するのか、一緒に考えていただく仕様になっております。

その点をご理解いただいた上で、広くご活用いただければ幸いです。

<http://harmony-mimoza.org/news/2019/12/book.html>





【日程未定で開催延期】

今回の熊本地震の影響により、

5/3「ジェンダー・マリアージュ」上映会は開催日程未定で延期することになりました。

健軍文化ホールの建物に安全上問題があり、修理しなくては使用することができず

5/3までには修理が完了する見込みがないということです。

日程を改めて行いたいと思っておりますが、現状では見通しが立ちません。

既に前売り券を購入されている方々、スケジュールを調整頂いていた方々、大変申し訳ございません。

前売り券の返金をご希望の方は購入窓口もしくはこちらのメッセージにてご連絡下さい。

よろしくお願いいたします。

**会場が、地震で使えなくなった上、  
スタッフが被災し、避難しているスタッフも多数  
日程未定で開催延期**

安くて、映画の上映ができる場所の  
目処が立たない。でも、何かしたい！

会場がなくてもできるパレードは  
どうだろうか？

「パレードをやろう！」

熊本初のパレードを  
2016年11月に開催することに！



2016 11/12 SAT 集合場所 辛島公園

● 集合時間 / 14:00 ● 出発時間 / 15:00

● 主催 / レインボーパレードくまもと2016実行委員会  
● 代表 / 川口 弘蔵 木下 幸二

どなたでも  
参加歓迎!

ACCESS

熊本駅  
熊本交通  
センター



熊本のLGBTたちによりそう被災地支援

# Pray for RAINBOW

「Pray for RAINBOW」プロジェクトは、熊本で被災されたセクシュアルマイノリティの方々の要望にもとづいて、直接支援を実行するチャリティ活動です。

**Tシャツ**  
**¥3,000**

**缶バッジ**  
**¥300**

**以上の寄付でプレゼント**

## 実施主体

NPO法人Rainbow Soup(福岡)

任意団体ドント・ウォーリー(東京)

ほか賛同団体・賛同人として、現地団体、全国で支援を集約する団体、東日本大震災等の支援経験がある団体にお声がけ致します。



Pray for RAINBOW  
事務局

<https://www.facebook.com/PrayforRainbow>  
[prayforrainbow@gmail.com](mailto:prayforrainbow@gmail.com)

シンポジウム

# 熊本地震と LGBT

地震・台風・豪雨など多くの災害リスクを抱えている日本。  
シンポジウムではLGBTなどセクシャルマイノリティの視点から、  
災害時の実態や解決策などについて議論を交わし  
今後どこでも起こりうる自然災害に活かせるヒントを、参加者の皆さんと一緒に考えます。

日時 **2016年11月13日(日)** 12:00開場(ランチョンパーティー)  
13:45~17:00

**場所 未来会議室**

<http://mirai-k.or.jp/access/>  
熊本市中央区下通1-12-27 CORE21 下通ビル5F  
最寄駅:熊本市電 花畑町駅下車 徒歩5分  
熊本市電 辛島町駅下車 徒歩5分



**参加費 500円**(資料代・事前申込不要)

シンポジウムの前にランチョンパーティー(ランチ販売あり)を12:15~13:30まで開催いたします(12:00から入場可)。  
シンポジウムのみ、ランチョンパーティーのみの参加もできます。  
ランチョンパーティーでは阿蘇の食材を使ったお弁当販売などを予定しています。乞うご期待!

**登壇者**



NPO法人  
高知ヘルペス代表  
浜口 ゆかりさん



東北HIVコミュニ  
ケーションズ代表  
小浜 耕治さん  
※仙台からネット参加



ともに拓くLGBTIQの会  
くまもと代表  
今坂 洋志さん



ゲイ支援サークル  
Safety Blankett代表  
川口 弘蔵さん



任意団体  
ドント・ウォーリー副代表  
谷山 廣さん



主催: Pray for RAINBOW (NPO法人Rainbow Soup + 任意団体ドント・ウォーリー)  
協力: ともに拓くLGBTIQの会くまもと、レインボーパレードくまもと  
お問い合わせ: NPO法人Rainbow Soup Email: [rainbowsoup.fukuoka@gmail.com](mailto:rainbowsoup.fukuoka@gmail.com)

自分の性別や好きな人の性別がどうであっても  
安心して自分らしく生きられるように、  
熊本で活動するための作戦会議を開催！

第2回

もっといい熊本にするために  
熊本でできることをやっていくために  
みんなで集まって、作戦を練ろう！

2/25 (土)

13時半～16時半  
(13時15分開場)

熊本市民会館  
第10会議室 (和室)

熊本中央区桜町1番3号  
熊本交通センター徒歩2分

# 熊本にじいろ作戦会議！

どんな性的指向・性自認でも、自分らしく生きられるよう、熊本で活動している方はもちろん、これから活動しようとしている方、活動に関わりたい方の参加も歓迎します！  
※熊本以外にお住まいの方も参加できます。

第1回熊本にじいろ作戦会議は、熊本初のレインボーパレードの翌日（昨年11月12日）に開催。Osora ni Niji wo Kake Mashitaの宇佐美翔子さんと岡田実穂さん（from青森）の話を聞き、コミュニティづくり、地方でできること、などなどを参加者みんなで話をしました。

第1回の作戦会議は、熊本のこれからはほとんど話せず時間切れになってしまいました。そこで、2回目の作戦会議を開催します！例えば、2回目のレインボーパレード、行政への働きかけ、啓発活動、映画の上映会、オフ会、などなど、熊本でやってみたいことを参加者みんなで出し合います。この作戦会議で一緒に活動できる仲間をぜひ見つけましょう！

前回の作戦会議に参加していなくてもOK。また、予約は不要。

当日、会場に直接お越しください。お待ちしております！ お問合せ：kumamoto2jikaigi@gmail.com

はじめに参加者一人ずつ自己紹介をする予定です。できれば遅れずにお越しください！途中退出可能です。  
実行委員が会場費等を負担しています。できましたら、お一人200円程度を目安にカンパをいただくとありがたく存じます。



映画「ジェンダー・マリアージュ」・「ゲイビー・ベイビー」  
トーク「いろいろな家族～愛する人を愛せる熊本に～」

日時：2017年10月9日(月祝)

10:00～16:30 (開場9:30)

場所：日本福音ルーテル健軍教会

(熊本市東区新生2丁目1番3号 電停・バス停「健軍交番前」すぐ)

〈前売〉通し券(映画2作品とランチ)2500円

映画1作品1000円・ランチ700円

〈当日〉映画1作品1200円・ランチ800円

【主催】「いろいろな家族の映画祭in熊本」実行委員会



いろいろな家族の  
映画祭in熊本  
ホームページ



セクシャルマイノリティにとっても住みやすい 熊本を実現しよう！！

トップ 行政への働きかけ 公開学習会 研修、講演会のご依頼 パネル展 活動報告

豆知識

## 第10回くまにじ公開学習会開催決定！

地方統一選挙 熊本県議会議員立候補者政策調査アンケート実施

[「平成31年熊本県議会議員選挙立候補予定者」の方全員に「SOGI（性的指向・性自認）に関する課題についての政策調査のお願い」を送付し、ご回答を頂きました。](#)

## くまにじとは

私たちは、レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーなどのセクシュアルマイノリティにとっても住みやすい熊本にするために活動するグループです。

くまにじは、熊本在住のLGBTQsに役立つ情報をまとめた総合情報ポータルサイトをつくるプロジェクトチームとしてスタートしました。

現在、私たちは、熊本が、法律上の性別が男でも女でも、自分の性別を何と想っていても、また、好きになる人の性別が何でも、1人ひとりが大切にされ、その人らしく生きられる場所になることを目的に活動しています。

「1人ひとりが大切にされ、その人らしく生きられ、セクシュアルマイノリティも住みやすい熊本」  
「ここでは暮らせないからと出て行く人がいない熊本」そんな熊本に手をたずさえて一緒に変えていきましょう。2017年9月には、くまにじのメンバーも多く関わり熊本市へ要請を行いました（[要請文](#)はどなたでも読むことができます）。この要請を受け、熊本市が[熊本市職員研修](#)（管理職対象）を行うことを決め、2018年1月、くまにじメンバーで研修を行いました。くまにじは、熊本市だけでなく県内の市町村全て、また熊本県に対し、セクシュアルマイノリティに関する施策を速やかに進めるよう求めています。

# くまにじ ホームページ

<https://kumaniji.jimdo.com/>





# 地方

LGBTはいても  
取り組みはない？

# 諸外国でのLGBTの人たちの経験



Rumbach and Night(2014)から作成

# 参考文献

- 「生きる力」市民運動化プロジェクト東北大学災害科学国際研究所.みんなの防災手帳岩手県版 . 2014.
- 減災と男女共同参画研修推進センター. 男女共同参画・多様性配慮の視点で学ぶ防災ワークブック. 2014.
- 土木学会・地盤工学合同調査団. 平成28年台風第10号による岩手県災害調査報告書. 2017.  
<http://committees.jsce.or.jp/report/system/files/平成28年台風第10号岩手県災害調査報告書.pdf>(2019.9.12最終閲覧)
- 内閣府緊急災害対策本部. 平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震(東日本大震災について)/. 2019. <http://www.bousai.go.jp/2011daishinsai/pdf/torimatome20190308.pdf>(2019.9.12最終閲覧)
- 山下梓. 見えない存在から人道支援のスタンダードへー災害と性的マイノリティー. 地域ケアリング 21(5). Pp 91-93. 2019.
- International Federation of Red Cross and Red Crescent Societies. What is a disaster? <https://www.ifrc.org/en/what-we-do/disaster-management/about-disasters/what-is-a-disaster/>(2019.9.12最終閲覧)
- Rumbach, Jennifer and Night, Kyle. 'Sexual and Gender Minorities in Humanitarian Emergencies.' Roeder, Larry W. Issues of Gender and Sexual Orientation in Humanitarian Emergencies: Risks and Risk Reduction. Springer 2014.